

自動車運転免許返納を控えた高齢者の運転意識

豊田工業高等専門学校 正会員 ○野田 宏治
呉工業高等専門学校 正会員 山岡 俊一
豊田工業高等専門学校 非会員 大森 峰輝
株式会社 キクテック 正会員 荻野 弘

1. 目的

近年、高齢者が第一当事者となる交通事故件数は減る傾向にはなく、そのため高齢者の運転免許返納¹⁾を促す活動が全国的に展開されている。一方、地方部では自動車に代わる公共交通サービスの提供には限界があり、免許返納によりこれまでの自由な日常生活をあきらめ、新たな生活環境を受け入れるには、大きな決断が必要となる。

本研究では自動車運転の実態調査から、運転免許返納に対する高齢運転者のジレンマについて明らかにする。

2. 運転免許返納と日常運転に関する調査

調査は表-1に示す豊田市内7地区の公共交通満足度、バスの本数、高齢者の事故率から表-2に示す市内24のクラブを抽出し、調査票は平成25年12月、各老人クラブ（現在は豊田市高齢者クラブ）会長を通し所属する会員2,769名に配布、郵送で回収した。有効回収率は41.8%であった。

3. 高齢者の運転意識

図-1に現在の年齢と運転技術の程度との関係を示す。年齢による回答にばらつきはあるものの全体では普通の回答が47%あり、自信があり、ややありは合わせて48%となる。自信がないとする回答はわずか5%でしかない。70歳代後半の年齢でも自信がある側の回答が40~70%となる。

図-2は安全に運転できる自信を示す。現在危ないとする回答は年齢の上昇とともに増加傾向にある。しかしながら80歳以上の年齢においても生涯大丈夫とする回答も20%前後ある。大半は自分の年齢よりも上の年齢くらいまで安全と回答している。

図-3は現在の年齢と運転をやめると回答した年齢とのクロス表である。図中の網掛け部分は数値が大きい。これによると60歳代後半から70歳代前半までは運転をやめる年齢が75歳、あるいは80歳と

表-1 地区の公共交通満足度バス本数など^{2), 3)}

	公共交通満足度	バス本数	高齢者の事故率
稲武	高	少	大
崇化館	中	多	大
梅坪台	高	多	大
竜神	中	少	中
末野原	低	少	中
藤岡	低	多	小
下山	高	少	小

表-2 アンケートの概要

査対象	愛知県豊田市老人クラブ所属の高齢者
調査地区抽出方法	公共交通満足度・バスの本数・高齢者の事故率
調査クラブ抽出方法	調査地区から2クラブ抽出 (崇化館のみ全クラブ)
調査地区	クラブ名(24クラブ)
稲武(2)	稲橋清風会 小田木百年クラブ
崇化館(12)	一区桜寿会 西区高砂会 新明神栄会 三寿会 東区竹友会 中区寿会 西区明栄クラブ 日の出会 平芝前区旭会 陣寿会 栄町寿会 西山長寿会
梅坪台(2)	伊保原さくら会 京町福寿会
竜神(2)	住吉あけぼの会 宝西親和会
末野原(2)	鴛鴨中部学園 渡刈寿会
藤岡(2)	藤睦会 若葉会
下山(2)	和合楽生会 三巴豊寿会
調査時期	平成25年12月11日~19日
配布・回収方法	各老人クラブ会長から会員へ手渡し配布 郵送回収
配布・回収数	配布: 2,769部 回収: 1157部
有効回収率	41.8%

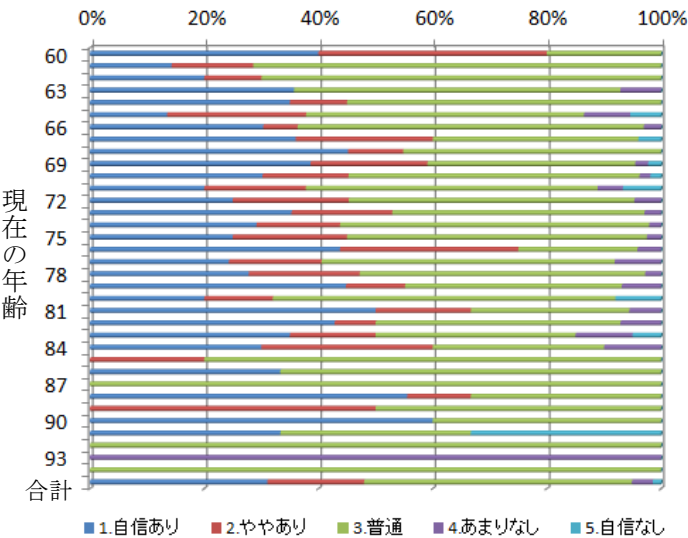


図-1 現在の年齢と運転技術

キーワード 運転免許返納、高齢運転者、アンケート
連絡先 〒471-8525 愛知県豊田市栄生町2-1 豊田工業高等専門学校 TEL 0565-36-5878

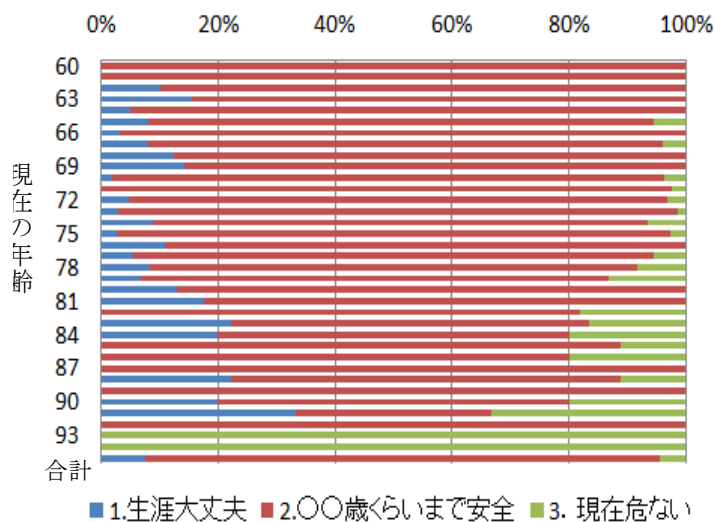


図 - 2 現在の年齢と安全に運転できる

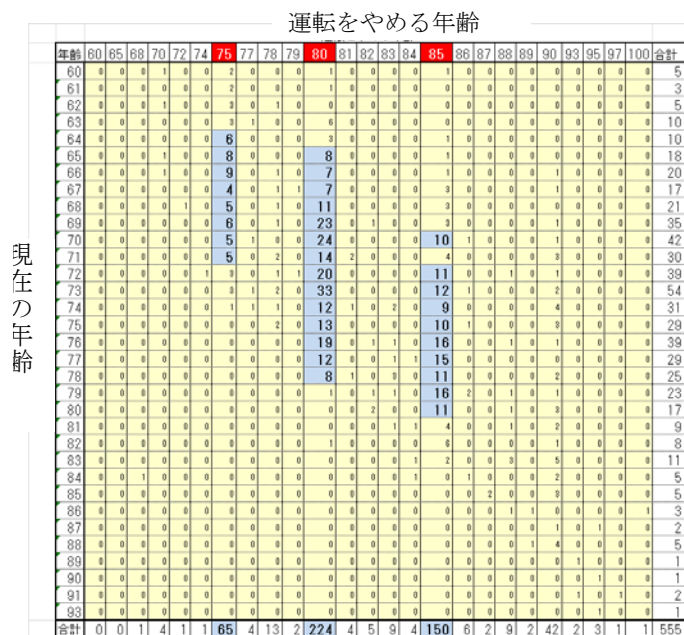


図 - 3 現在の年齢と運転をやめる年齢

回答している。70歳以上では85歳と回答している。

4. 免許非返納者の数量化Ⅱ類分析

図 - 4 に免許非返納者の免許返納についての数量化Ⅱ類分析結果を示す。外的基準は免許返納後の生活は困るかである。免許非返納者が返納したら困ることについて数量化Ⅱ類で分析のレンジで見ると第1軸では「買い物へ自動車がいけなくなること」、「思い通りに外出できなくなること」、「送迎などを誰かに頼まなければならぬこと」、「地域」が、第2軸では「病院へ自動車がいけなくなること」、「思い通りに外出できなくなること」、「買い物へ自動車がいけなくなること」、「仕事に使いえなくなること」などが上位に上がった。上位に上がった項目は非返納者自身の外出を阻害するものである。また、第1軸で「地域」が4番目に上がっていることから免許の返納における問題とし

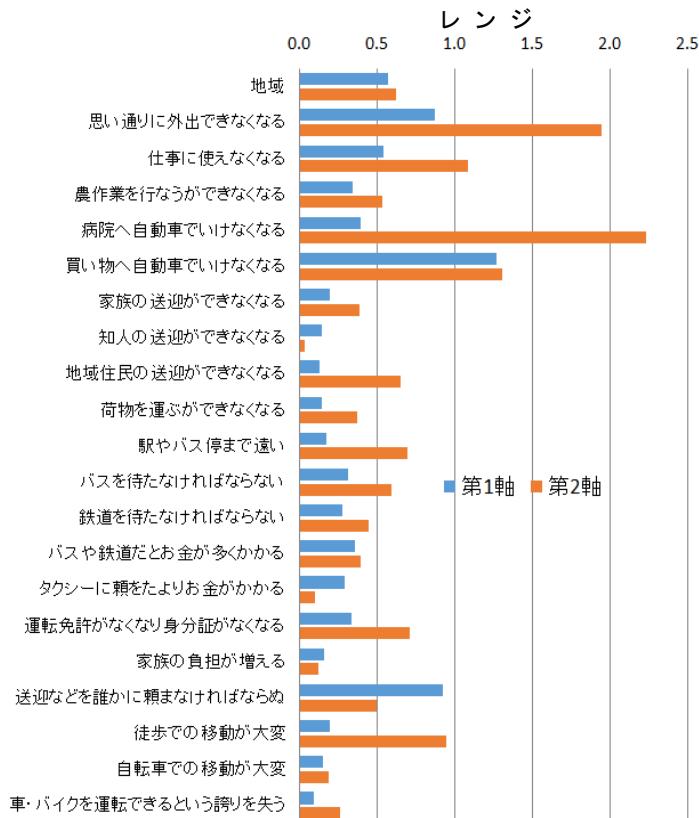


図 - 4 免許非返納者の数量化Ⅱ類分析

て、都市部に居住するか中山間地域に居住するかが重要な項目となることが分かる。

5. 免許返納に対する高齢運転者のジレンマ

ある年齢で運転をやめると回答した530名について、安全運転ができる年齢と運転をやめる年齢の関係を見た。全体の75%は安全運転ができる年齢で運転をやめると回答している。一方で安全運転ができる年齢が75歳では42%が80歳、80歳では20%が85歳、85歳では10%が90歳と回答している。

自由記述を見ると、免許返納に対し、交通手段がなく外出できない、生きることをやめることに等しいなど不安を訴える記述が多い。一方で、視力の衰えにより夜間の運転を控えている、夜間の交通事故を起さないかなどを心配する記述もある。

免許を返納した人からは、自動車をやめてから淋しいことを訴え、今は年だから仕方がないとの記述もある。今後免許返納に向けて年齢の若い時から他の交通手段を日常生活に取り入れるなど生活の変化を受け入れる心の準備が必要となる。

【参考文献】

- 1) 警察庁「運転免許統計」
<https://www.npa.go.jp/toukei/menkyo/index.htm>
- 2) 豊田市企画課：豊田市市民意識調査（第19回）、2011
- 3) 豊田市交通政策課：豊田市バスガイドブック Vol1、2013